



移行期間に求められる実践

本年度より新学習指導要領全面实施に向けて、小学校では2年間、中学校では3年間の移行期間に入りました。各学校では新学習指導要領を踏まえながら、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのか、それをどのように実施・評価し改善していくのかを明確にする「カリキュラム・マネジメント」の確立が求められます。

昨年7月に、新学習指導要領に移行するために必要な措置(移行措置)が公示され、各教科で円滑な移行ができるよう、指導内容を一部加える等の特例が設けられました。各学校では、この措置を踏まえた指導計画を作成し指導していきます。

小学校3～6学年の外国語活動については、授業時数の特例が示されていますが、本市の各小学校では、昨年度より授業時数を確保して実施しています。



外国語活動(4年生)

また、総合的な学習の時間や特別活動については、本年度から新学習指導要領の規定によることになり、特別の教科道徳についても本年度より実施(中学校は平成31年度より)となりました、これらの教科等については、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切に教育課程を編成し実施しなければなりません。



特別の教科 道徳(5年生)

移行期間における学習評価については、移行期間に追加して指導する部分を含めて行います。

以上が移行期間における学校の実践すべき主な内容ですが、何より大切なことは、現在の教育課程についての自己評価を行い、その結果を十分に分析し、改善の具体策を検討することです。各学校では改訂の趣旨や内容を全職員で共通理解を図りながら、移行期間における教育課程編成の準備と実施にあたっております。



新教育課程に向けた研修会の様子



大阪狭山市 市制施行30周年記念事業

昨年度大阪狭山市は市制施行30周年を迎えましたが、学校でもその一環として、いろいろな記念事業に取り組みました。

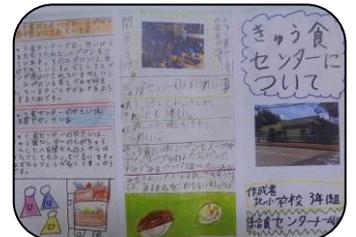


西小学校では、毎年行っている自分たちが暮らす街についての学習を、『わが街 再発見』という題名の冊子にまとめました。内容は、「レッツGO! 町たんけん」「まちの安全マップ」「再発見! 大阪狭山市調べ!」などで、保護者や地域の方に配布するとともに公民館にも展示していただきました。



わが街 再発見(西小)

北小学校では、3年生が図書館や公民館・給食センターの見学や北小校区で町たんけんしたことをまとめて、それぞれパンフレットとして印刷し、3年生の保護者に配布しました。また、図書館や公民館・給食センターの窓口にも置いていただきました。



給食センターのパンフレット(北小)

南第一小学校の3年生は「大すき! わたしたちの町」というテーマで、10グループに分かれて市内たんけんをしました。それぞれ調べたことを模造紙に「〇〇新聞」としてまとめ、保護者や地域の皆さんを招待した『学習発表会』で発表しました。



学習発表会の様子(南一小)

東小学校では、考古学者として初めて文化勲章を受章され、大阪狭山市名誉市民で東小の卒業生でもある末永雅雄博士の顕彰碑を設置し、その除幕式を行いました。子どもたちは、末永博士のことをずっと忘れずに東小の誇りとして大切にしていきます。



末永雅雄博士顕彰碑(東小)

上記以外にも、すでに啐啄で紹介しておりますが市制施行30周年記念事業として、南中学校が『ブラサヤマ』、南第二小学校と南第二幼稚園が『キャンドルアート』に取り組みました。これらの取組みで子どもたちには、自分が暮らす町に対する誇りと愛情が大きく育ちました。

大阪狭山市授業力向上研修

昨年度の3学期には『大阪狭山市授業力向上研修』として4校で公開授業を行い、市内小中学校から多くの教職員が参加しました。

外国語活動の公開授業(北小学校)

平成30年1月12日(金)

北小学校は1月12日(金)に、授業力向上研修として5年外国語活動の公開授業を行いました。指導者は竹本夢教諭とALTのLuisaさんで、単元名は『Hi, friends! Lesson8 I study Japanese』です。

本時の目標は、「時間割について英語で尋ねたり、答えたりする」です。アクティビティ①は時間割(教科と曜日)を使ったタイフーンゲームで、アクティビティ②は友だちが予想した時間割を「What do you study on~?」と尋ね、「I study~on~」と答える活動でした。

授業後の討議会では、今日の授業の良かった点や課題、自分の授業でも取り入れられることなどについてグループ協議を行いました。

最後に関西大学の竹内理先生から(1)子どもたちの英語の発話量が多いのが良かった(2)流れがよく考えられていた(3)評価をしようと思うと、具体的なめあてが必要(4)ほめ言葉のバリエーションを、などの指導助言がありました。



社会の公開授業(第三中学校)

平成30年1月29日(月)

第三中学校は1月29日(月)に、授業力向上研修として2年社会科の公開授業を行いました。指導者は松村烈教諭で単元名は『近代国家の歩みと国際社会』です。

本時の目標は、「班活動や発表を通して、この時代の世界情勢について理解を深める」です。この授業では、まず子どもたちは黒船来航時の大名の立場になって「開国・攘夷・時間稼ぎ」の中から自分が最善と考えるものを選び、意見をまとめます。次に班で意見交換を行い、結論をまとめます。そして班ごとに発表し、互いの意見を聞きました。

授業後の討議会では、「班での話し合いがしっかりできていた」「結論をどうするかが難しい」などの意見が出ていました。

最後に市教委の学力向上アドバイザーより、「ICTの効果的な活用とデータの共有化を」「子どもたちの発表がしっかりできていた」「資料の読み取りから、考える授業への転換を」などの指導助言がありました。



数学の公開授業(狭山中学校)

平成30年2月6日(火)

2月6日(火)に狭山中学校で、授業力向上研修として1年数学科の公開授業を行いました。指導者は塩月秋洋教諭で、単元名は『資料の傾向の調べ方』です。この研修は「大阪狭山市習熟度別少人数授業研究協議会」も兼ねており、小中学校から数学・算数担当だけでなく英語・国語担当等多くの教職員が参加しました。

本時の目標は、「2つの資料を比較しやすいようにまとめる」です。この授業ではまず個人で実験結果を整理し、その特徴を考えました。次にグループで自分の考えた方法を話し合い、比較しやすくなるように模造紙にまとめ、最後に全員が前で発表しました。

授業後の討議会では、「落ち着いて学習している」「意見を出しにくい子どもの指導をどうすればよいか」などの意見が出ていました。最後に市教委の学力向上アドバイザーから、「自分の考えを出しやすい雰囲気が出ていた」「資料の活用は他の教科にもつながる大切な学習である」などの指導助言がありました。



外国語活動の公開授業(第七小学校)

平成30年2月19日(月)

2月19日(月)に第七小学校で授業力向上研修として3年外国語活動の公開授業を行いました。指導者は浅尾健太郎首席と大阪狭山小学校英語活動支援の会の根本孝女さんで、単元名は『What would you like?』です。

本時の目標は、「欲しいものを尋ねたり言ったりする際、丁寧な表現があることに気付く」です。バナナチャンツやword checkのウォームアップをした後、指導者がロールプレイで2つの場面を紹介し、子どもたちにWhat do you want?とWhat would you like?の違いに気付かせ、最後に丁寧な表現で尋ねるカードゲームをしました。

授業後の討議会では、「授業のテンポが良かった」「しっかり口を開けて発音していた」「子どもの発話量を増やすにはどうすればよいか」などの意見や質問が出されていました。

最後に関西大学の竹内理先生から、「場面設定がきちんとできていた」「授業ではできるだけ英語を使う」「積み重ねを大切に」などの指導助言がありました。



今年度も『啐啄』で、さやまの学校園の取組みを発信してまいります。よろしくお願いいたします。